

東山白山神楽台、飛騨総社



<http://digitalarchiveproject.jp/information/東山白山神楽台、飛騨総社/>



■東山白山神楽台、飛騨総社(例年・5月5日の祭礼)

〈県指定〉2基とも昭和34年3月10日に指定

〈所有者(所在地)〉

飛騨総社(屋台蔵・神田町2丁目100番地)

東山白山神社(屋台蔵・鉄砲町60番地2)

〈時代〉江戸時代(19世紀)

〈員数〉2基

屋台(2基)1 神楽台(飛騨総社)2 神楽台(東山白山神社)

■神楽(かぐら)台(たい)(飛騨総社)

沿革 飛騨総社を再興した国学者田中大秀(おおひで)の提唱で、初め箱形の台に高欄をめぐらし胴長太鼓をのせて2人で担いで祭礼に巡行したが、嘉永3年(1850)現在の台形に改造した。その後破損休台したが、昭和41年に修理した。

■神楽台(東山白山神社)

沿革 東山白山神社は往時安川通に鎮座されていたが、金森氏が城下町を経営するにあたり現在地に移された。弘化4年(1847)創建。明治12年(1879)修理。明治24年(1891)に、方形だった大太鼓の枠を丸枠に替え3段形態とした。昭和31年修理。

参考文献 『高山の文化財』



0002_2007年ほか 飛騨総社屋台



0003_2007年ほか 飛騨総社屋台



0004_2007年ほか 飛騨総社屋台



0005_2007年ほか 飛騨総社屋台



0006_2007年ほか 飛騨総社屋台



0007_2007年ほか 飛騨総社屋台



0008_2007年ほか 飛騨総社屋台



0009_2007年ほか 飛騨総社屋台



0010_2007年ほか 飛騨総社屋台



0011_2007年ほか 飛騨総社屋台



0012_2007年ほか 飛騨総社屋台



0013_2007年ほか 飛騨総社屋台



0014_東山白山神社祭礼



0015_東山白山神社祭礼



0016_東山白山神社祭礼



0017_東山白山神社祭礼



0018_東山白山神社祭礼



0019_東山白山神社祭礼



0020_東山白山神社祭礼



0021_東山白山神社祭礼



0022_東山白山神社祭礼



0023_東山白山神社祭礼



0024_東山白山神社祭礼



0025_東山白山神社祭礼



0026_東山白山神社祭礼



0027_東山白山神社祭礼



0001_2007年ほか 飛騨総社屋台